

# あたらしい みやげもの



別府の「稼ぐ力」の強化に向けた新たな「ものづくり」の試みとして、別府市、NPO法人BEPPUPROJECT、そして国内有数のセレクトショップであり地場産業の商品開発を手がける株式会社ビームスとのコラボレーション事業「BEAMS EYE オンベップ」第2弾を開催しました。

## あたらしいみやげもの

今回のコラボレーション事業では、別府の「あたらしいみやげもの」の商品開発企画に取り組みました。10年後も20年後も愛され続けるような魅力的なものがづくりに意欲のある別府市内の事業者を公募したところ、飲食店、竹細工、文房具、化粧品など幅広い業種の25事業者から応募があり、16事業者が書類選考を通過。各事業者はビームスジャパンのバイヤーと3か月にわたり商品内容やパッケージ、別府らしさの表現などの協議を重ね、32商品が開発（既存商品の改良含む）されました。

2月7日から新宿のビームスジャパンで開催されたイベント「BEAMS EYE on BEPPU」で展示販売が行われ、首都圏のお客様に「あたらしいみやげもの」を通して別府の魅力を発信しました。

☎ 秘書広報課 ☎ (21) 1123



▲ビームス ジャパンのバイヤーと事業者（左）のサンプルチェックの様子





ビームス ジャパン バイヤー 鈴木 修司 さん

今回の取り組みで私がもっとも感じたことは、各事業者様の「別府への愛と想い」でした。今回の「あたらしいみやげもの」づくりは、ゼロから商品開発したものもあれば既存の商品を改良したもの、パッケージや販促方法にアドバイスさせていただいたものなど様々でした。「各者の利益だけでなく、事業者様同士のつながりによって別府全体を盛り上げましょう」という、ビームスからのメッセージにもご賛同いただき、思いをひとつにゴールを目指すことができました。開発した「みやげもの」が、別府の魅力をあますことなく発信していくことを願っています。

### フリーマガジン

「まるで湯けむり。」

3人のキャストと3人の写真家による2泊3日の別府旅行記「まるで湯けむり。」をイベントに合わせて刊行。モデル・女優の青柳文子さん、「シヤムキャッツ」ヴオーカルの夏目知幸さん、劇作家・俳優の戌井昭人さん、それぞれの個性が色濃く反映された読みものと写真、別府のヒト・モノ・コトにフォーカスしたコラムで構成したローカルガイドブックとなっております。配布開始直後から反響が大きく、多くのメディアに取り上げられ、ターゲットの一つでもある若年層が「まるで湯けむり。」を手には、別府旅行を楽しむ姿も見られています。

### 稼ぐ力の向上と

別府ブランドの確立へ

「あたらしいみやげもの」商品開発企画をきっかけに、参加事業者同士が連携して販促イベントを開催するなど、新しいかたちの販売展開も生まれています。『儲かる別府』の実現に向けて、引き続き、別府の稼ぐ力を高めるとともに、愛される別府ブランドの確立を目指していきます。

## 『BEAMS EYE on BEPPU』巡回展

日時 3月28日(水)～4月16日(月)  
11:00～18:00 ※火曜日定休

内容 別府市の地場産業 16事業者と共同開発した商品「あたらしいみやげもの」の展示販売・写真展示・フリーマガジンの配布を行います。

場所 SELECT BEPPU (中央町9-33)

問合せ BEPPU PROJECT ☎ 22-3560



▶「まるで湯けむり。」は、ビームスオフィシャルサイトから5月7日(月)までダウンロード可能

